

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	みんなで笑顔「木のおうち2っ！」児童発達支援・放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	令和 8 年 2 月 14 日		～ 令和 8 年 2 月 28 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	令和 8 年 2 月 14 日		～ 令和 8 年 2 月 28 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8 年 3 月 4 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちの意見を取り入れたプログラムを実施している。	プログラムについて子どもたちの意見を聞く機会を設けている(調理活動のメニューや、外出・外食体験の行き先、やりたい活動など)。	やりたいことが見つけられるよう、経験の機会を増やしていく。また、新しいことにもチャレンジできるよう、見通しの持てる選択肢の提示を行なう。
2	研修機会を積極的に設けている。	事業所内職員による勉強会、外部講師を招いての研修やコンサルテーションを行なっている。	研修による学びを事業所内で共有し、チームによる支援の向上につなげていく。
3	PDCA サイクルに、広く職員が参画している。	子どもの個別支援計画策定、日々の支援、業務改善などにおいて、正規職員・非正規職員ともに話し合いに参加し、計画・実行・振り返り・再実行を行なっている。	話し合ったことをもとにした、ツールの作成や環境整備に取り組む時間が足りない。合理化できる業務は合理化するなどして、時間確保に務める。また、事業所評価を基にした業務改善にも、広く職員に参画してもらう。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域園とのつながりが弱い。	園へのお迎え時に、短時間、その日の様子を聞くことしかできていない。また、サービス担当者会議に地域園担当者が参加していないケースがある。	相談支援専門員に働きかけて、それぞれの場所での子どもの様子や支援内容について共有できる機会をつくってきたい。
2	ご家族対象のプログラムがない。	ご家族対象のプログラムを企画するための余力がない。	まずは、ご家族のニーズを確かめる機会をつくりたい。また、他事業所での取り組みからも学んで、実施につなげたい。
3	各種マニュアルの周知ができていない。	情報量が多く、ご家族に説明する時間をとることが難しい。	ホームページ等に掲載するなど、ご家族の都合に合わせて確認していただける環境を整えることを検討したい。また、要点についてはおたよりの配布などで周知をはかっていきたい。